

シニア三役会議・共済担当者との意見交換

田中ひさや政策実現活動の取り組み強化を確認

シニア共済加入者数の伸び鈍化を懸念

シニアクラブは2月5日、JAM本部で三役会議を開催し通常国会に合わせた退職者連合の要請行動など当面する活動と田中ひさや政策推進活動の現状について協議、今後の取り組みを強化することを決めた。また共済担当者との意見交換では加入者年齢の85歳への制度改定後の推移と共済加入者数の伸びの鈍化について議論した。

三役会議では地方シニア定期総会が広島と岡山の開催を残し終了したこと、第1回役員

者の推薦及び田中ひさや政策実現活動について集中的に協議した。田中ひさや「応援者カード」の取り組みを各地方で精力的にすすめているが、目標に未



達であり、今後もあらゆる機会と方法を通じて会員に協力を働きかけること、事務局内に地方担当を決め、地方との連携を強めること、5月24日に開催予定の「JAM総決起集会」にはシニア幹事全員が参加することとした。また三役会議に続いて開催した「JAM共済担当者との意見交換会」には椎木副書記長、清野グループ長、相羽・

林両副グループ長が出席。清野グループ長がシニア共済の直近4年間の加入・給付状況と推移を報告した。報告によると1月1日現在のシニア共済加入者は9962人、総給付実績が786件で1億1329万円の給付額となった。これを前年同期比で見ると、加入者数と加入回数、給付額が増加し給付件数が減少した。

田中ひさや候補予定者を 全力で応援しています！ 応援者カードへのご協力を

シニアクラブは7月に行われる参議院選挙比例区のJAM組織内「田中ひさや」候補予定者を全力で応援しています。

現在「田中ひさや応援者カード」の活動をすすめていますのでシニア会員の皆さんの積極的なご協力をお願いします。



田中ひさや候補予定者のキャッチフレーズは「働くみんなの力になりたい」。ものづくり、ひとづくり、くにつくりを柱にした政策ですべての人が切り捨てられることなく安心して働き、安心して暮らせる世の中をめざしています。その政策を紹介します。

【ものづくり】

- ①製品価値（公正労働）と労働の価値（賃金水準）が適正に評価される社会を実現します。中小企業の支援を強化します。
- ②ものづくりマイスターの活用による効果的な技能継承や後継者の育成、中小企業の付加価値の拡大をはかります。
- ③ものづくり産業が抱える課題に向き合い現場力を高める的確な産業政策の実現をめざします。

【ひとづくり】

- ④働くみんなの健康を脅かす長時間労働是正に向けた法整備とブラック企業の対策を強化します。
- ⑤雇用の安定と公正な処遇の確保をめざします。
- ⑥妊娠、出産、育児と仕事の両立支援、介護離職の防止などすべての人が仕事と子育て・介護を両立できる社会をめざします。

【くにつくり】

- ⑦人口減少・少子高齢化社会を前提にした安定・充実のための財源確保と中長期的な財政構造の抜本改革をめざします。所得再配分機能を高めるため社会保障と税の一体改革を着実に推進します。
- ⑧すべての人が育児、年金、介護などの必要な社会保障サービスを確実に受けられるよう社会保障制度の基盤確立をめざします。
- ⑨災害に強いインフラ整備と災害発生時に機能する避難・医療体制の整備・強化をすすめ、防災性に優れた「ひとが中心のまちづくり」の実現をめざします。

中心的に議論となったのは順調に拡大していたシニア共済への新規加入者の伸びが2015年をピークに鈍化傾向をたどり、直近の7～11月期では期首比で24人減少した。その要因が何によるものなのか問題視された。要因は団塊世代が65歳を過ぎたことなど構造的なものか、加入年齢85歳への制度改定に伴う契約見直しの結果、退会や解約に繋がったのか、JAM共済からの移行時の対応に変化があったのか等詳細を把握するには至らず今後問題意識をもって追跡することとした。

京 上野の歴史探索とパンダ 東 「シャンシャン」との対面に大満足

水間 英夫 通信員

第20回目となるJAM東京シニアクラブ「東京・街歩き」を今回は12月で1歳半になるシャイアントパンダ「シャンシャン」に会いに行き、改めて上野を散策しようと、11月7日(水)に実施した。「シャンシャン」に会うための待ち時間を考慮して、いつもよりやや早い午前9時30分J



上野動物園に入園した後、早速シャンシャンに会うため最後尾に並んだのが9時45分頃すでに1時間待ちの看板があり、「えー平日なのにー」の声があちこちで聞こえたが、並ぶしかありません。列

集合時間を過ぎていたことから、三々五々昼食会場へ直行した。レストランでは長岡会長の乾杯でスタート。いつもの街歩きと異なり、昼食後の散策が気になってか、ビールの進み具合が控えめだったように思われた。美味しい料理に満足した後、改めて長岡会長から「田中ひさや」への支援を含めてご挨拶をいただいた。

西郷どんの銅像の前で記念写真の後、

城 第17回定期総会を開催

田中ひさや必勝決議を満場一致で確認

井上 純一 通信員

茨城シニアクラブは11月15、16日に福島県猪苗代町中ノ沢温泉「白城屋」で第17回総会を開催。東京製綱、ビクター、アイメタルテクノロジ、日本ファ

イリング、イケガイユニオンの会員とシニアクラブ大野事務局、茨城県連宮下事務局長など20名が参加した。15日、JR神立駅を9時30分に出発し、途中、五色沼に立ち寄り、「白城屋」に到着後直ちに総会が行われた。議長に西副会長を選出、高石会長挨拶の後、大野事務局長と宮下事務局長より挨拶を受けた。

媛 第18回定期総会を開催

全ての議案を賛成多数で確認

藤井 正剛 通信員

去る11月23日、JAM愛媛高齢者・退職者の会第18回定期総会が

全労済新居浜支所で総勢27人参加のもと開かれた。

開会挨拶を前田副代表幹事、総会議長に井関退職者の会・板橋氏を選出して進出した。

冒頭、森永代表幹事は挨拶の中で参院選に

し、9月にシニアの総会へ出た際、安河内会長から「現在はJAMの国

議員がゼロ、何



次に来賓あいさつではJAMシニアクラブ豊泉副会長から①単組でJAMの運動を担ってきた元役員でまだシニアクラブ会員になっ

ていない人も多くおられるので、現役の協力を頂いて拡大目標の実現を、と具体的な助言。

②政策推進活動では田中ひさやを当選させ国会に送ること。今回は基幹労連の組織支援を受け中央・地方での連携が進んでいることの紹介を含めた協力要請がされた。

次に愛媛退職者連合の織田事務局長、JAM愛媛地協の泉議長、全労済及び労働金庫新居浜の代表からそれぞれ連帯・激励の挨拶。

議事終了後、昼食も兼ねた懇親交流会を行い、無事終了することが出来た。

報告、会計報告が斎藤事務局長より、宮崎会計監査から監査報告が行われいずれも承認。続いて2019年度活動方針と予算、第25回参議院選挙における「田中ひさや候補予定者」の必勝決議を満場一致で承認した。役員改選では新役員にボツシュ・レックスロス山田副会長とイケガイユニオン奈良副会長を加えた新体制を承認した。第二部の懇親会では一年振りの再会を喜び合い話も弾んでそれぞれカラオケで自慢の歌を披露し合いながら、楽しい一時を過ごした。

16日は午前9時に「白城屋」前にて集合写真を撮り、快晴の会津磐梯山を見ながら猪苗代湖畔のガラス館、そして野口英世記念館を見学、お菓子の城・那須ハートランドで昼食に舌鼓を打って一路茨城へとバスに揺られながら無事帰宅した。